

キャリアガイダンス 学生に関するアンケート結果のとりまとめ

キャリア支援課

1. キャリアガイダンスを受けたことの可否について

回答学生の 74.9 パーセント(昨年度比 4.9 パーセント増)が中学、高校のいずれかにおいてキャリアガイダンスを受けていると回答している。
中等教育においてキャリアに関する取り組みが浸透している結果となった。

2. 自分の卒業後の進路について

回答学生の 73.6 パーセント(昨年度比 3.6 パーセント増)が「考えている」と回答しており、厳しい就職状況が進路への関心度の高さを示す結果となった。
回答項目では、「民間企業」が最も多く、「公務員」、「進学(大学院)」の順であった。

3. 自分に対する理解度について

回答学生の 89.6 パーセント(昨年度比 1.4 パーセント減)が「進んだ」と回答しており、キャリアデザインガイドを利用したワーク形式の取り組みが高い効果を上げる結果となった。

4. 今後の目標のイメージ度について

回答学生の 83.5 パーセント(昨年度比 0.5 パーセント減)が「イメージできた」と回答しており、ディスカッションなどを取り入れたことで、具体的な行動を喚起する結果となった。

5. グループワークにおける積極的関わり度合いについて

回答学生の 82.7 パーセント(昨年度比 7.3 パーセント減)が、「関わる事ができた」と回答している。教職員一体となってガイダンスを進めたことは効果的であったが、学生の積極度を高めるファシリテーション方法が課題となった。

6. キャリアデザインガイド1で掲載してほしい情報について

昨年度のアンケート結果を参考にキャリアデザインガイド 1 を改訂し、更なる効果が期待できる内容とした。
次年度についても、下記内容を参考に、より効果的な冊子作成を目指す。

(1)(経営学部)

① 企業人気ランキングを掲載して欲しい。

(2)(経済学部)

- ① 職業の説明や企業情報を多く載せて欲しい。
- ② 講座・資格情報。
- ③ 先輩達が何をやり残したか。(すればよかったか)
- ④ 今の情報で十分だと思う。

(3)(法学部)

- ① 公務員情報(5名)。
- ② 公務員として採用された方、現職の方へのインタビュー。
- ③ 企業掲載を増やしてほしい。
- ④ 先輩の体験談を多く聞きたい。
- ⑤ 十分知りたい情報が載っていました。

平成 23 年度

(4)(国際関係学部)

- ① 就活の際の失敗例(3名)。
- ② 海外や英語を使った職業についてもっと知りたいです。
- ③ 学生のうちにできるインターンシップ、留学。
- ④ 就活生の生活パターン(何月からどんなことを始めるか、1日の生活パターンなど)。
- ⑤ とても見やすかったです。

7. キャリアガイダンスを受けた感想、質問等について

(1)(経営学部)

- ① 今回のガイダンスを聞いて卒業後の進路イメージすることができた。
- ② 今から計画的に将来を見据える必要があることを実感させられました。
- ③ 人生選択に役立ったのでよかったです。
- ④ 自分の将来についてあまり考えてなかったのが、いろいろ考えることが出来てよかった。
- ⑤ 職業に就くということを今までは漠然と考えていたが、少し現実的に考えられることができました。

(2)(経済学部)

- ① 将来についてしっかりと考え、興味が持てたのでよかったです。
- ② 4年間の大学生活でやらなければいけないことがわかりました。この先多くの苦勞をしていきます。
- ③ 大学生活での目標が早くできれば将来の職業がはっきりとわかると思った。
- ④ インプレッションゲームで自分からの印象と相手からの印象が違うのでびっくりした。
- ⑤ 話を聞いて就職までの過程が少し頭の中でイメージできた。もっと聞きたいと思った。

(3)(法学部)

- ① 公務員(警察官)になりたいと思っていたが、アサヒビールのDVDを見て営業も悪くない、むしろ向いているのではないかと感じた。
- ② 自分の将来について真剣に考えなければいけないと思った。
- ③ 実際に初対面の人とペアワークをしながらのガイダンスで、コミュニケーションを取る練習をしつつ学べました。
- ④ アサヒビールのDVDがおもしろかった。公務員のDVDも見てみたかった。
- ⑤ とてもためになる講義でした。自分を見つめ直し、また会社組織に対する興味や意欲がわきました。

(4)(国際関係学部)

- ① 3・4年次に後悔しないように自由な時間がたくさんある今、将来のために行動しようと思いました。
- ② 今回のキャリアガイダンスを通して就活の時に大学生活で頑張ったことがいえるような4年間にしたいと思った。
- ③ 亜大を卒業してからどんな活動をしているのか実際に卒業生が来て話しをしてくれて、諦めなければ何でもできるということが伝わってきて感動した。
- ④ 4年生の内定をもらった方の講義が一番身近に感じられ、ためになった。
- ⑤ 国際組織に興味があるので、亜細亜大学の卒業生でNGOに就職した方のお話しが聞けたのは貴重な機会であったと思う。

以上